

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2002-321409(P2002-321409A)
 【公開日】平成14年11月5日(2002.11.5)
 【出願番号】特願2002-41416(P2002-41416)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 11/08 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/08

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月29日(2006.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 プリンタのプラテンであって、
 前記プラテンの長手方向に配された剛体部材と、
 前記プラテンの長手方向と交差する方向に互いに平行に配され、前記剛体部材に保持される複数の、記録媒体の支持部材と、
 を含むプラテン。

【請求項2】 前記剛体部材は、前記プラテンの長手方向に対し、互いに平行に複数配されている請求項1に記載のプラテン。

【請求項3】 前記記録媒体の支持部材が樹脂あるいは弾性部材により形成されている請求項1または2に記載のプラテン。

【請求項4】 前記記録媒体の支持部材はリブ形状であり、前記リブ形状は頂面が記録媒体の裏面を支持する請求項1から3のいずれかに記載のプラテン。

【請求項5】 記録媒体に記録を行うプリンタであって、
 前記プラテンの長手方向に配された剛体部材と、
 前記プラテンの長手方向と交差する方向に互いに平行に配され、前記剛体部材に保持される複数の、記録媒体の支持部材と、
 前記プラテンと対向する位置にインクジェット記録ヘッドを保持するヘッド保持部材と、

を含むプリンタ。

【請求項6】 前記剛体部材は、前記プラテンの長手方向に対し、互いに平行に複数配されている請求項5に記載のプリンタ。

【請求項7】 前記支持部材が樹脂あるいは弾性部材により形成されている請求項5または6に記載のプリンタ。

【請求項8】 前記支持部材は、頂面が記録媒体の裏面を支持するリブ形状である請求項5から7のいずれかに記載のプリンタ。

【請求項9】 複数の前記支持部材の頂面が含まれるような仮想の面と前記インクジェット記録ヘッドとの距離が均一となるように、前記プラテンが配置されている請求項8に記載のプリンタ。

【請求項10】 液体吐出記録ヘッドを用いて、前記支持部材上の記録媒体に対して記録液滴を吐出して記録を行う請求項5から9のいずれかに記載のプリンタ。

【請求項11】 前記液体吐出記録ヘッドは、液体に熱エネルギーもしくは振動エネ

ルギーを付与することにより液滴を飛翔させるものである請求項10に記載のプリンタ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために本発明は、プリンタのプラテンであって、プラテンの長手方向に配された剛体部材と、前記プラテンの長手方向と交差する方向に互いに平行に配され、前記剛体部材に保持される複数の、記録媒体の支持部材と、を含むことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

さらに、前記記録媒体の支持部材が樹脂あるいは弾性部材により形成されていることが好ましい。さらに、前記記録媒体の支持部材はリブ形状であり、前記リブ形状は頂面が記録媒体の裏面を支持することが好ましい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明は、記録媒体に記録を行うプリンタであって、上記のようなプラテンと対向する位置にインクジェット記録ヘッドを保持するヘッド保持部材を含むプリンタを提供する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

さらに、このプリンタにおいて、複数の前記記録媒体の支持部材の頂面が含まれるような仮想の面と前記インクジェット記録ヘッドとの間の距離が均一となるように、前記プラテンが配置されていることが好ましい。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

さらに、上記のプリンタは、液体吐出記録ヘッドを用いて、前記支持部材上の記録媒体に対して記録液滴を吐出して記録を行うものであり、前記液体吐出記録ヘッドは、液体に熱エネルギーもしくは振動エネルギーを付与することにより液滴を飛翔させるものであることが好ましい。